

## 2-10. 加害者による損害賠償状況

加害者による損害賠償状況として、受領した給付・支給・賠償の内容、訴訟・交渉等を行った場合における賠償状況、訴訟・交渉等を行っていない場合の賠償状況等について分析する。

### (1) 受領した給付、支給、賠償の内容

事件に関連して受領した給付、支給、賠償の内容について、犯罪被害者等全体では79.9%が「いずれも受けていない」と回答しており、「加害者からの賠償」との回答比率は3.1%にとどまっている。個別の各給付、支給、賠償の回答比率は、高い順に「加害者側の自動車保険」(7.1%)、「その他の公的な給付・支給」「被害者側の保険」(それぞれ2.3%)、「労災保険」(2.2%)となっている。犯罪被害類型別でみると、「いずれも受けていない」との回答比率は、性的な被害(95.0%)、児童虐待(93.6%)、ストーカー(92.0%)、配偶者暴力(90.4%)で非常に高く、「加害者からの賠償」との回答比率は、性的な被害(0.8%)、児童虐待(0.9%)、ストーカー(1.6%)、配偶者暴力(1.8%)、財産被害(2.9%)で非常に低い。交通事故では、「加害者側の自動車保険」との回答比率が47.1%と最も高く、「いずれも受けていない」(23.1%)との回答比率が他の類型と比べて低くなっている(図表10-1)。

加害者の逮捕状況別にみると、「いずれも受けていない」との回答比率は、「捕まった」では48.9%、「捕まっていない」では88.1%と、加害者が捕まっていない場合の方が高くなっている。一方、個別の各給付、支給、賠償の回答比率は、多くの項目で加害者が捕まった場合の方が高くなっている(図表10-2)。

被害の時期別にみると、「いずれも受けていない」との回答比率が、「それ以前」では83.6%、「3～10年以内」では69.9%、「3年以内」では72.4%と、全ての時期で最も高くなっている。なお、被害が近年になるほど、例えば、現在、申請中や交渉中であるなどの理由から、給付、支給、賠償が未了の場合があると考えられる(図表10-3)。

図表 10-1 犯罪被害類型別、受領した給付、支給、賠償の内容(複数回答)【SC1/SC3、Q40】

	全体	犯罪被害者等給付金	地方公共団体からの見舞金	労災保険	その他の公的な給付・支給	加害者側の自動車保険	加害者側の保険	被害者側の保険	犯罪被害者支援基金による奨学金	その他の民間団体の給付・支給	加害者からの賠償	その他	いずれも受けていない	わからない
犯罪被害者等	819	8 (1.0%)	5 (0.6%)	18 (2.2%)	19 (2.3%)	58 (7.1%)	12 (1.5%)	19 (2.3%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	25 (3.1%)	5 (0.6%)	654 (79.9%)	36 (4.4%)
財産被害	139	3 (2.2%)	2 (1.4%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	4 (2.9%)	1 (0.7%)	115 (82.7%)	7 (5.0%)
配偶者暴力	114	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	103 (90.4%)	6 (5.3%)
ストーカー行為等	125	3 (2.4%)	2 (1.6%)	4 (3.2%)	3 (2.4%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	115 (92.0%)	2 (1.6%)
児童虐待	109	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	102 (93.6%)	1 (0.9%)
性的な被害	119	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	113 (95.0%)	2 (1.7%)
交通事故	104	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (7.7%)	4 (3.8%)	49 (47.1%)	9 (8.7%)	11 (10.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (7.7%)	3 (2.9%)	24 (23.1%)	8 (7.7%)
暴力被害	109	2 (1.8%)	1 (0.9%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (6.4%)	1 (0.9%)	82 (75.2%)	10 (9.2%)

【参考】性的な被害、交通事故、暴力被害の更なる内訳

	全体	犯罪被害者等給付金	地方公共団体からの見舞金	労災保険	その他の公的な給付・支給	加害者側の自動車保険	加害者側の保険	被害者側の保険	犯罪被害救援基金による奨学金	その他の民間団体の給付・支給	加害者からの賠償	その他	いずれも受けていない	わからない
性的な被害	痴漢等	90 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	87 (96.7%)	1 (1.1%)
	無理矢理性交	29 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (6.9%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (89.7%)	1 (3.4%)
交通事故	けが	96 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (6.3%)	6 (3.1%)	3 (50.0%)	48 (9.4%)	9 (9.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (7.3%)	1 (1.0%)	22 (22.9%)	8 (8.3%)
	死亡	8 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (25.0%)	2 (12.5%)	1 (12.5%)	1 (0.0%)	0 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (12.5%)	1 (25.0%)	2 (25.0%)	2 (0.0%)
暴力被害	けが	96 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (2.1%)	2 (1.0%)	1 (0.0%)	0 (1.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (7.3%)	1 (1.0%)	75 (78.1%)	9 (9.4%)
	死亡	13 (15.4%)	2 (7.7%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (7.7%)	1 (0.0%)	0 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (53.8%)	7 (7.7%)

図表 10-2 加害者の逮捕状況、受領した給付、支給、賠償の内容（複数回答）【SC6、Q40】

	全体	犯罪被害者等給付金	地方公共団体からの見舞金	労災保険	その他の公的な給付・支給	加害者側の自動車保険	加害者側の保険	被害者側の保険	犯罪被害救援基金による奨学金	その他の民間団体の給付・支給	加害者からの賠償	その他	いずれも受けていない	わからない
捕まった	133	3 (2.3%)	3 (2.3%)	10 (7.5%)	3 (2.3%)	35 (26.3%)	5 (3.8%)	8 (6.0%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	17 (12.8%)	2 (1.5%)	65 (48.9%)	6 (4.5%)
捕まっていない	553	3 (0.5%)	2 (0.4%)	4 (0.7%)	11 (2.0%)	16 (2.9%)	5 (0.9%)	7 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (1.1%)	2 (0.4%)	487 (88.1%)	18 (3.3%)
捕まったかどうかわからない	133	2 (1.5%)	0 (0.0%)	4 (3.0%)	5 (3.8%)	7 (5.3%)	2 (1.5%)	4 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	1 (0.8%)	102 (76.7%)	12 (9.0%)

図表 10-3 被害の時期別、受領した給付、支給、賠償の内容（複数回答）【SC2、Q40】

	全体	犯罪被害者等給付金	地方公共団体からの見舞金	労災保険	その他の公的な給付・支給	加害者側の自動車保険	加害者側の保険	被害者側の保険	犯罪被害救援基金による奨学金	その他の民間団体の給付・支給	加害者からの賠償	その他	いずれも受けていない	わからない
3年以内	98	3 (3.1%)	2 (2.0%)	7 (7.1%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	5 (5.1%)	1 (1.0%)	71 (72.4%)	7 (7.1%)
3～10年以内	143	2 (1.4%)	2 (1.4%)	7 (4.9%)	6 (4.2%)	18 (12.6%)	4 (2.8%)	7 (4.9%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	7 (4.9%)	2 (1.4%)	100 (69.9%)	4 (2.8%)
それ以前	578	3 (0.5%)	1 (0.2%)	4 (0.7%)	11 (1.9%)	35 (6.1%)	5 (0.9%)	9 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (2.2%)	2 (0.3%)	483 (83.6%)	25 (4.3%)

(2) 訴訟・交渉等を行った場合における賠償状況

A. 訴訟・交渉等の実施状況

加害者側との損害賠償に関する訴訟・交渉等の実施状況について、犯罪被害者等全体では88.0%が「訴訟や交渉などを行っていない」と回答しており、「上記を行った際、弁護士または司法書士に頼んだ」との回答比率は1.3%にとどまっている。個別の訴訟・交渉等の実施状況の回答比率は、高い順に「示談書・和解書を作成した」(4.9%)、「民事訴訟を利用した」(2.3%)となっている。犯罪被害類型別でみると、児童虐待、性的な被害、配偶者暴力、ストーカー、財産被害、暴力被害では、「訴訟や交渉などを行っていない」との回答比率が高い。交通事故では、「訴訟や交渉などを行っていない」(60.6%)との回答比率が他の類型と比べて低く、「示談書・和解書を作成した」(26.9%)が次いで高くなっている(図表10-4)。

加害者の逮捕状況別にみると、「訴訟や交渉などを行っていない」との回答比率は、「捕まった」では61.7%、「捕まっていない」では93.5%と、加害者が捕まっていない場合の方が高くなっている。一方、個別の訴訟・交渉等の実施状況の回答比率は、多くの項目で加害者が捕まった場合の方が高くなっている(図表10-5)。

被害の時期別にみると、「訴訟や交渉などを行っていない」との回答比率は、「それ以前」では91.5%、「3～10年以内」では81.8%、「3年以内」では76.5%と、近年になるほど低くなっている。個別の訴訟・交渉等の実施状況の回答比率は、多くの項目で近年になるほど高くなっている。なお、被害が近年になるほど、例えば、訴訟・交渉等を行うか検討中であるなどの理由から、訴訟・交渉等に至っていない場合があると考えられる（図表10-6）。

図表 10-4 犯罪被害類型別、訴訟・交渉等の実施状況（複数回答）【SC1/SC3、Q41】

	全体	民事訴訟 を利用し た	損害賠償 命令を利 用した	刑事和解 を利用し た	公正証書 を作成し た	示談書・ 和解書を 作成した	その他	交渉した が、合意 に至らな かった	上記を行っ た際、弁護 士または 司法書士 に頼んだ	訴訟や交 渉などを 行ってい ない
犯罪被害者等	819	19 (2.3%)	10 (1.2%)	10 (1.2%)	7 (0.9%)	40 (4.9%)	12 (1.5%)	16 (2.0%)	11 (1.3%)	721 (88.0%)
財産被害	139	6 (4.3%)	3 (2.2%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)	122 (87.8%)
配偶者暴力	114	2 (1.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	109 (95.6%)
ストーカー行為等	125	3 (2.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	3 (2.4%)	2 (1.6%)	5 (4.0%)	0 (0.0%)	113 (90.4%)
児童虐待	109	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	107 (98.2%)
性的な被害	119	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	116 (97.5%)
交通事故	104	4 (3.8%)	2 (1.9%)	4 (3.8%)	0 (0.0%)	28 (26.9%)	4 (3.8%)	1 (1.0%)	6 (5.8%)	63 (60.6%)
暴力被害	109	2 (1.8%)	3 (2.8%)	2 (1.8%)	3 (2.8%)	6 (5.5%)	3 (2.8%)	5 (4.6%)	1 (0.9%)	91 (83.5%)

図表 10-5 加害者の逮捕状況、訴訟・交渉等の実施状況（複数回答）【SC6、Q41】

	全体	民事訴訟 を利用し た	損害賠償 命令を利 用した	刑事和解 を利用し た	公正証書 を作成し た	示談書・ 和解書を 作成した	その他	交渉した が、合意 に至らな かった	上記を行っ た際、弁護 士または 司法書士 に頼んだ	訴訟や交 渉などを 行ってい ない
捕まった	133	10 (7.5%)	8 (6.0%)	7 (5.3%)	4 (3.0%)	24 (18.0%)	5 (3.8%)	5 (3.8%)	6 (4.5%)	82 (61.7%)
捕まっていない	553	9 (1.6%)	1 (0.2%)	3 (0.5%)	2 (0.4%)	9 (1.6%)	5 (0.9%)	9 (1.6%)	3 (0.5%)	517 (93.5%)
捕まったかどうかわからない	133	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	7 (5.3%)	2 (1.5%)	2 (1.5%)	2 (1.5%)	122 (91.7%)

図表 10-6 被害の時期別、訴訟・交渉等の実施状況（複数回答）【SC2、Q41】

	全体	民事訴訟 を利用した	損害賠償 命令を利用した	刑事和解 を利用した	公正証書 を作成した	示談書・ 和解書を作成した	その他	交渉したが、合意 に至らなかった	上記を行 った際、 弁護士ま たは司法 書士に頼 んだ	訴訟や交 渉などを行 っていない
3年以内	98	8 (8.2%)	3 (3.1%)	4 (4.1%)	2 (2.0%)	6 (6.1%)	3 (3.1%)	5 (5.1%)	4 (4.1%)	75 (76.5%)
3～10年以内	143	3 (2.1%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)	2 (1.4%)	10 (7.0%)	3 (2.1%)	5 (3.5%)	4 (2.8%)	117 (81.8%)
それ以前	578	8 (1.4%)	4 (0.7%)	4 (0.7%)	3 (0.5%)	24 (4.2%)	6 (1.0%)	6 (1.0%)	3 (0.5%)	529 (91.5%)

イ. 訴訟・交渉等を知った手段

訴訟・交渉等を知った手段については、「自分で調べた」(37.8%) が最も多く、次いで「弁護士から聞いた」(31.6%)、「警察から聞いた」(30.6%)、「家族・友人・知人から聞いた」(25.5%) となっている(図表 10-7)。

被害の時期別にみると、「それ以前」では「警察から聞いた」(32.7%)、「自分で調べた」(30.6%)、「3～10年以内」では「自分で調べた」「家族・友人・知人から聞いた」(それぞれ 42.3%)、「3年以内」では「弁護士から聞いた」(56.5%)、「自分で調べた」(47.8%) との回答比率が高くなっている(図表 10-8)。

図表 10-7 訴訟・交渉等を知った手段（複数回答）【Q42】

	全体	自分で調べた	家族・友人・知人から聞いた	弁護士から聞いた	警察から聞いた	検察から聞いた	日本司法支援センター(法テラス)から聞いた	地方公共団体の総合的対応窓口から聞いた	性犯罪・性暴力被害者のためのフリーストップ支援センターから聞いた	その他の行政機関・福祉機関の相談窓口から聞いた	民間の犯罪被害者支援団体から聞いた	加害者側や加害者側の弁護士から申入れがあった	その他
犯罪被害者等	98	37 (37.8%)	25 (25.5%)	31 (31.6%)	30 (30.6%)	7 (7.1%)	3 (3.1%)	5 (5.1%)	1 (1.0%)	3 (3.1%)	3 (3.1%)	8 (8.2%)	8 (8.2%)

※対象：Q41（訴訟や交渉などを行ったか）で「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方（721人）を除く。

図表 10-8 被害の時期別、訴訟・交渉等を知った手段（複数回答）【SC2、Q42】

	全体	自分で調べた	家族・友人・知人から聞いた	弁護士から聞いた	警察から聞いた	検察から聞いた	日本司法支援センター(法テラス)から聞いた	地方公共団体の総合的対応窓口から聞いた	性犯罪・性暴力被害者のためのフリーストップ支援センターから聞いた	その他の行政機関・福祉機関の相談窓口から聞いた	民間の犯罪被害者支援団体から聞いた	加害者側や加害者側の弁護士から申入れがあった	その他
3年以内	23	11 (47.8%)	3 (13.0%)	13 (56.5%)	9 (39.1%)	4 (17.4%)	0 (0.0%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)
3～10年以内	26	11 (42.3%)	11 (42.3%)	7 (26.9%)	5 (19.2%)	1 (3.8%)	3 (11.5%)	2 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (11.5%)	2 (7.7%)
それ以前	49	15 (30.6%)	11 (22.4%)	11 (22.4%)	16 (32.7%)	2 (4.1%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	3 (6.1%)	6 (12.2%)

※対象：Q41（訴訟や交渉などを行ったか）で「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方（721人）を除く。

## ウ. 訴訟・交渉等による賠償額

訴訟・交渉等によって定まった加害者側の賠償額については、図表10-9のとおり。

図表 10-9 犯罪被害類型別、訴訟・交渉等による賠償額【SC1/SC3、Q43】

	全体	10万円未 満	10万円～ 99万円	100万円 ～999万 円	1,000万円 ～4,999万 円	5,000万円 ～9,999万 円	1億円以 上	賠償額が 定まらな かった	わからない
犯罪被害者等	82	7 (8.5%)	25 (30.5%)	21 (25.6%)	5 (6.1%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	9 (11.0%)	14 (17.1%)
財産被害	15	3 (20.0%)	5 (33.3%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
配偶者からの暴力(DV)	4	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
ストーカー行為等	7	0 (0.0%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)
児童虐待	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
性的な被害	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
交通事故	40	4 (10.0%)	9 (22.5%)	12 (30.0%)	3 (7.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)	9 (22.5%)
暴力被害	13	0 (0.0%)	7 (53.8%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)

※対象：Q41（訴訟や交渉などを行ったか）で「交渉したが、合意に至らなかった」「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方（737人）を除く。

## エ. 賠償額が定まるまでの期間

賠償額が定まるまでの期間については、犯罪被害者等全体では「1か月以上半年未満」（30.1%）が最も多く、次いで「半年以上1年未満」（16.4%）となっている（図表10-10）。

図表 10-10 賠償額が定まるまでの期間【Q44】

	全体	2週間未 満	2週間以 上1か月 未満	1か月以 上半年未 満	半年以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 5年未満	5年以上	わからない
犯罪被害者等	73	4 (5.5%)	9 (12.3%)	22 (30.1%)	12 (16.4%)	7 (9.6%)	4 (5.5%)	2 (2.7%)	13 (17.8%)

※対象：Q43（訴訟・交渉等による賠償額）の対象者（82人）のうち、「賠償額が定まらなかった」と回答した方（9人）を除く。

**オ. 賠償が支払われた割合**

賠償額が定まったうち、加害者側から支払われた割合については、犯罪被害者等全体で半分以上支払われている（「51～70%」と「71～99%」と「100%」の和）との回答比率は32.2%、全く支払われていない（「0%」）との回答比率は18.6%となっている（図表10-11）。

**図表 10-11 賠償が支払われた割合【Q45】**

	全体	0%	1～10%	11～20%	21～50%	51～70%	71～99%	100%	わからない
犯罪被害者等	59	11 (18.6%)	1 (1.7%)	1 (1.7%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	4 (6.8%)	15 (25.4%)	24 (40.7%)

※対象：Q43（訴訟・交渉等による賠償額）の対象者（82人）のうち、「賠償額が定まらなかった」「わからない」と回答した方（23人）を除く。

**カ. 賠償の支払に掛かった期間**

加害者側からの賠償の支払に掛かった期間については、図表10-12のとおり。

**図表 10-12 賠償の支払に掛かった期間【Q46】**

	全体	2週間未満	2週間以上 1か月未満	1か月以上 半年未満	半年以上1 年未満	1年以上2 年未満	2年以上5 年未満	5年以上	わからない
犯罪被害者等	24	1 (4.2%)	3 (12.5%)	6 (25.0%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	2 (8.3%)

※対象：Q43（訴訟・交渉等による賠償額）の対象者（82人）のうち、「賠償額が定まらなかった」「わからない」と回答した方（23人）を除き、かつQ45（賠償が支払われた割合）で「わからない」と回答した方又は「加害者からの支払」に0%と回答した方（35人）を除く。

## キ. 全額の賠償に至らない理由

全額の賠償に至らない理由については、図表10-13のとおり。

図表 10-13 全額の賠償に至らない理由（複数回答）【Q47】

	全体	加害者側に 資力がな かったから	加害者側に 賠償する意 思がなかつ た・途中か ら賠償する 意思がなくな ったから	加害者側 の所在が 分からず、 督促ができ なかったか ら	加害者が 刑務所に 入っている から	現在、分割 で支払われ ている	わからない	その他
犯罪被害者等	20	3 (15.0%)	5 (25.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)	2 (10.0%)	10 (50.0%)	1 (5.0%)

※対象：Q43（訴訟・交渉等による賠償額）の対象者（82人）のうち、「賠償額が定まらなかった」「わからない」と回答した方（23人）を除き、かつQ45（賠償が支払われた割合）で「わからない」と回答した方又は「加害者からの支払」に100%と回答した方（39人）を除く。

## 【参考】被害の時期別、全額の賠償に至らない理由

	全体	加害者側に 資力がな かったから	加害者側に 賠償する意 思がなかつ た・途中か ら賠償する 意思がなくな ったから	加害者側 の所在が 分からず、 督促ができ なかったか ら	加害者が 刑務所に 入っている から	現在、分割 で支払われ ている	わからない	その他
3年以内	7	2 (28.6%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
3～10年以内	7	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	4 (57.1%)	1 (14.3%)
それ以前	6	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)

**(3) 訴訟・交渉等を行っていない場合の賠償状況****ア. 賠償の支払の有無**

訴訟・交渉等を行っていない、又は、合意に至らなかった場合の加害者側からの賠償の支払の有無について、犯罪被害者等全体では93.2%が「支払なし」と回答している。犯罪被害類型別でみると、交通事故のみ「支払あり」(56.3%)が「支払なし」(43.8%)を上回っている(図表10-14)。

**図表 10-14 犯罪被害類型別、賠償の支払の有無【SC1/SC3、Q48】**

	全体	支払あり	支払なし
犯罪被害者等	737	50 (6.8%)	687 (93.2%)
財産被害	124	3 (2.4%)	121 (97.6%)
配偶者暴力	110	1 (0.9%)	109 (99.1%)
ストーカー行為等	118	2 (1.7%)	116 (98.3%)
児童虐待	108	1 (0.9%)	107 (99.1%)
性的な被害	117	1 (0.9%)	116 (99.1%)
交通事故	64	36 (56.3%)	28 (43.8%)
暴力被害	96	6 (6.3%)	90 (93.8%)

※対象：Q41（訴訟や交渉などを行ったか）で「交渉したが、合意に至らなかった」「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方（737人）のみ。



## Ⅰ. 訴訟・交渉等を行わなかった理由

訴訟・交渉等を行わなかった理由について、犯罪被害者等全体では、「どのような手続をとればよいかわからなかったから」(32.5%)、「加害者側とこれ以上関わりたくないから」(27.6%)との回答比率が高くなっている。犯罪被害類型別にみると、これらのほか、財産被害、性的な被害では「加害者側の所在が分からなくなったから」、配偶者暴力では「加害者側に賠償する意思がなかったから」「加害者側に資力がなかったから」との回答比率も高くなっている(図表10-15)。

被害の時期別でみると、全ての時期で「どのような手続をとればよいかわからなかったから」「加害者側とこれ以上関わりたくないから」との回答比率が高くなっている(図表10-16)。

図表 10-15 犯罪被害類型別、訴訟・交渉等を行わなかった理由(複数回答)【SC1/SC3、Q49】

全体	加害者側に資力がなかったから	加害者側に賠償する意思がなかったから	加害者側の所在が分からなくなったから	加害者が刑務所に入っているから	加害者側とこれ以上関わりたくないから	手続などが大変だと思ったから	弁護士に頼む資力がなかったから	どのような手続をとればよいかわからなかったから	今後、賠償請求する予定	他に公的な給付・支給や民間団体からの給付・支給を受けたから	その他	
犯罪被害者等	721	66 (9.2%)	70 (9.7%)	82 (11.4%)	4 (0.6%)	199 (27.6%)	88 (12.2%)	59 (8.2%)	234 (32.5%)	2 (0.3%)	14 (1.9%)	151 (20.9%)
財産被害	122	8 (6.6%)	5 (4.1%)	26 (21.3%)	0 (0.0%)	14 (11.5%)	14 (11.5%)	5 (4.1%)	31 (25.4%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)	39 (32.0%)
配偶者暴力	109	22 (20.2%)	29 (26.6%)	2 (1.8%)	0 (0.0%)	34 (31.2%)	12 (11.0%)	8 (7.3%)	32 (29.4%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	19 (17.4%)
ストーカー行為等	113	12 (10.6%)	11 (9.7%)	8 (7.1%)	2 (1.8%)	57 (50.4%)	16 (14.2%)	11 (9.7%)	32 (28.3%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	10 (8.8%)
児童虐待	107	3 (2.8%)	7 (6.5%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	27 (25.2%)	7 (6.5%)	15 (14.0%)	53 (49.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (22.4%)
性的な被害	116	2 (1.7%)	3 (2.6%)	29 (25.0%)	0 (0.0%)	31 (26.7%)	20 (17.2%)	9 (7.8%)	41 (35.3%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	21 (18.1%)
交通事故	63	8 (12.7%)	1 (1.6%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	9 (14.3%)	9 (14.3%)	2 (3.2%)	13 (20.6%)	1 (1.6%)	5 (7.9%)	22 (34.9%)
暴力被害	91	11 (12.1%)	14 (15.4%)	13 (14.3%)	2 (2.2%)	27 (29.7%)	10 (11.0%)	9 (9.9%)	32 (35.2%)	0 (0.0%)	4 (4.4%)	16 (17.6%)

※対象：Q41(訴訟や交渉などを行ったか)で「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方(721人)のみ。

図表 10-16 被害の時期別、訴訟・交渉等を行わなかった理由(複数回答)【SC2、Q49】

全体	加害者側に資力がなかったから	加害者側に賠償する意思がなかったから	加害者側の所在が分からなくなったから	加害者が刑務所に入っているから	加害者側とこれ以上関わりたくないから	手続などが大変だと思ったから	弁護士に頼む資力がなかったから	どのような手続をとればよいかわからなかったから	今後、賠償請求する予定	他に公的な給付・支給や民間団体からの給付・支給を受けたから	その他	
3年以内	75	13 (17.3%)	13 (17.3%)	4 (5.3%)	0 (0.0%)	18 (24.0%)	11 (14.7%)	7 (9.3%)	25 (33.3%)	2 (2.7%)	1 (1.3%)	10 (13.3%)
3~10年以内	117	18 (15.4%)	18 (15.4%)	14 (12.0%)	2 (1.7%)	30 (25.6%)	17 (14.5%)	11 (9.4%)	30 (25.6%)	0 (0.0%)	4 (3.4%)	20 (17.1%)
それ以前	529	35 (6.6%)	39 (7.4%)	64 (12.1%)	2 (0.4%)	151 (28.5%)	60 (11.3%)	41 (7.8%)	179 (33.8%)	0 (0.0%)	9 (1.7%)	121 (22.9%)

※対象：Q41(訴訟や交渉などを行ったか)で「訴訟や交渉などを行っていない」と回答した方(721人)のみ。